

千年の都・鴨川清流プラン 実施状況

平成30年3月

これまでの取り組み体系と「千年の都・鴨川清流プラン」

鴨川流域懇談会「千年の都と鴨川」(H18.5)提言

安心・安全の鴨川をめざして

千年の都・京都の美しい鴨川をめざして

より一層多くの人々から親しまれる鴨川をめざして

「鴨川河川整備計画」(H22.1)

下流築堤部の1/30確率での河川改修、中上流部の中州寄州管理による流下能力確保等

洪水予測の精度向上等

河川情報発信施設、洪水シミュレーション

防災訓練、出前講座

京都市水共生プランとの連携等

豊かな緑を守る条例などとの連携

雨水貯留や浸透施設の設置など

下水道管理者との連携

鴨川条例に基づく適切な指導、ほか

鴨川条例に基づく指導、ほか

アウトドアアクティビティ施設の整備

安らぎや憩いを感じるアメニティ施設の整備
-「緑の回廊」、「水とのふれあい回廊」、「西高瀬川背割り堤」の整備

自転車道整備の検討(桂川～五条大橋)

自然環境マップ等の作成

河川愛護の高揚

堤内地を含めた散策コースの検討

鴨川を中心としたまちづくりの誘導

府民会議の意見の参考、ほか

水辺の回廊整備・鴨川創造プラン H21～25

下流築堤部の1/30確率での改修
中州・寄州管理

治水対策

ジョギングロード整備等

「緑の回廊」の整備

「水とのふれあい回廊」の整備

「西高瀬川背割り堤」の整備

自然環境マップ等の作成

公共空間整備

千年の都・鴨川清流プラン H26～30

河川改修の着実な推進
鴨川の適切な維持管理

多発する集中豪雨への対応
経験のない大規模洪水への備え

良好な水辺環境の保全

良好な水辺環境の保全
歴史都市・京都にある鴨川の保全
河川区域内行為の整理

河川区域内行為の整理

鴨川のもつ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出

地域等との連携・協働(次世代教育)

鴨川のもつ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出

地域等との連携・協働(次世代教育)

安心・安全の鴨川をめざして

鴨川河川整備の概要

○流下能力が低い築堤区間(桂川合流点～七条大橋約7.6km)

⇒概ね1/30で河道拡幅等を実施

○最下流部

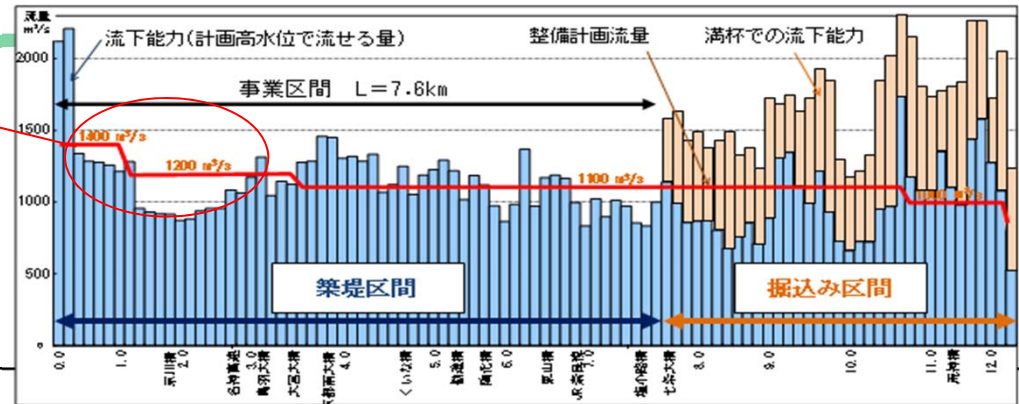
直轄桂川合流点上流で
①右岸低水の河道掘削及び護岸整備

②左岸の堤防拡幅等

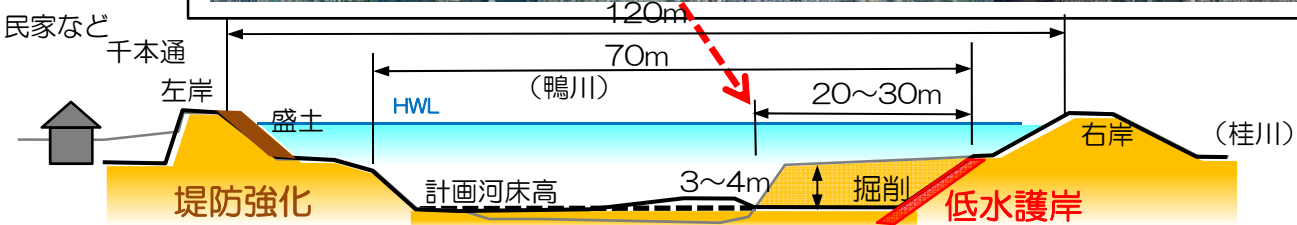
○下流部

鳥羽大橋付近他で公共空間整備と併せて護岸等の整備

下流の流下能力が低い区間に着手



(最下流部横断面図)

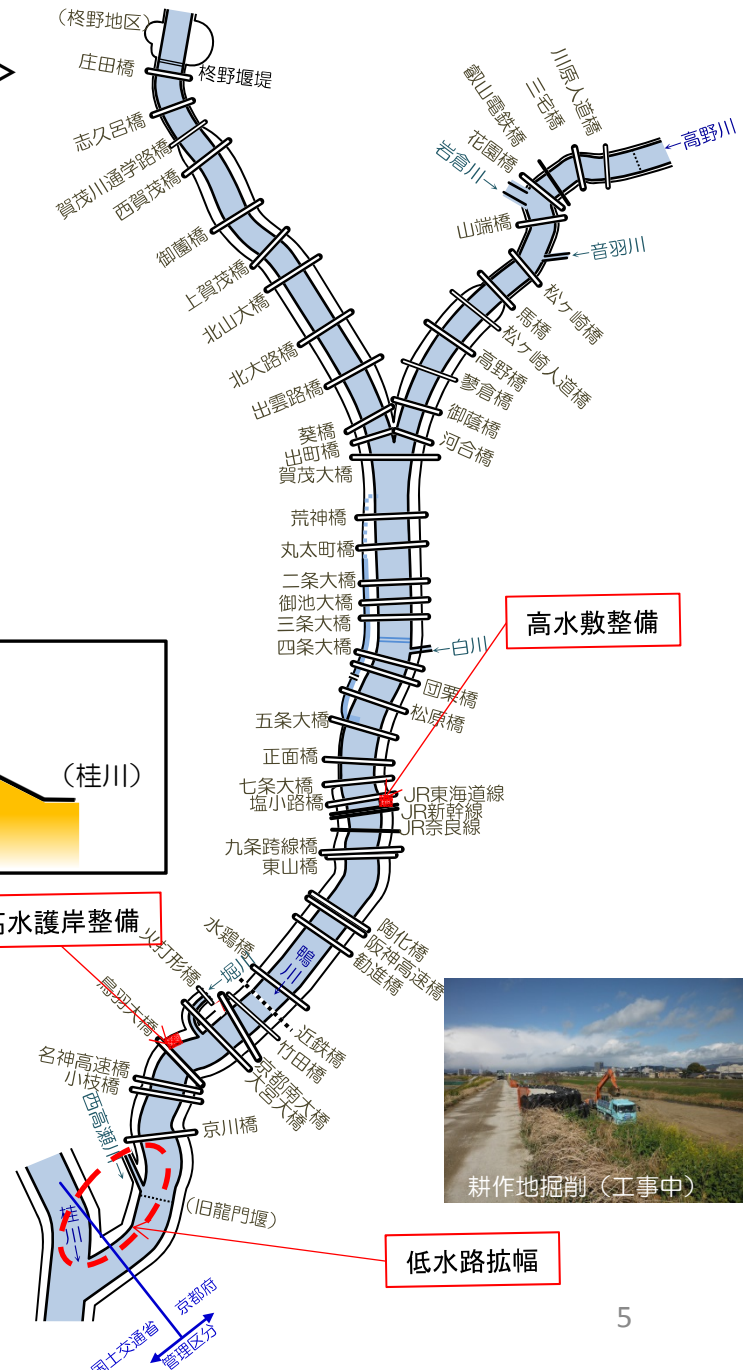
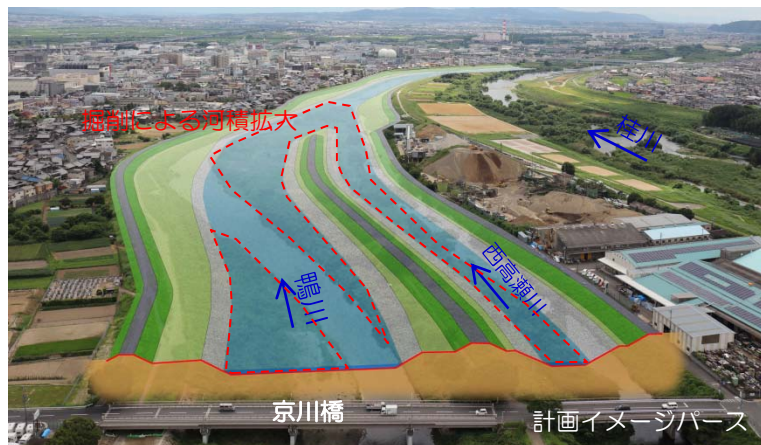
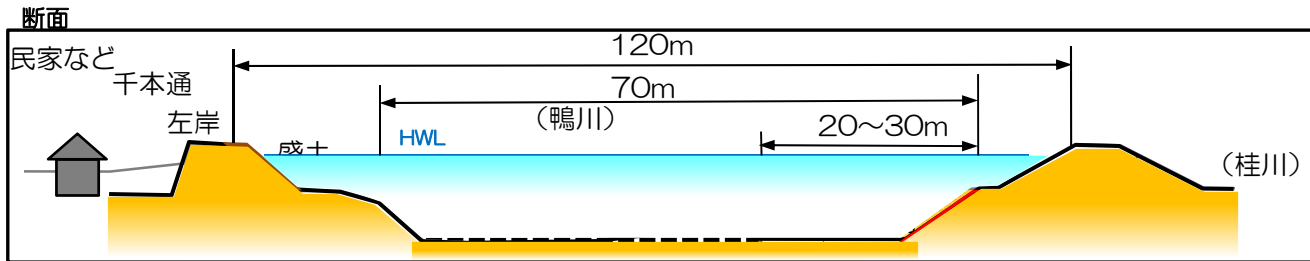
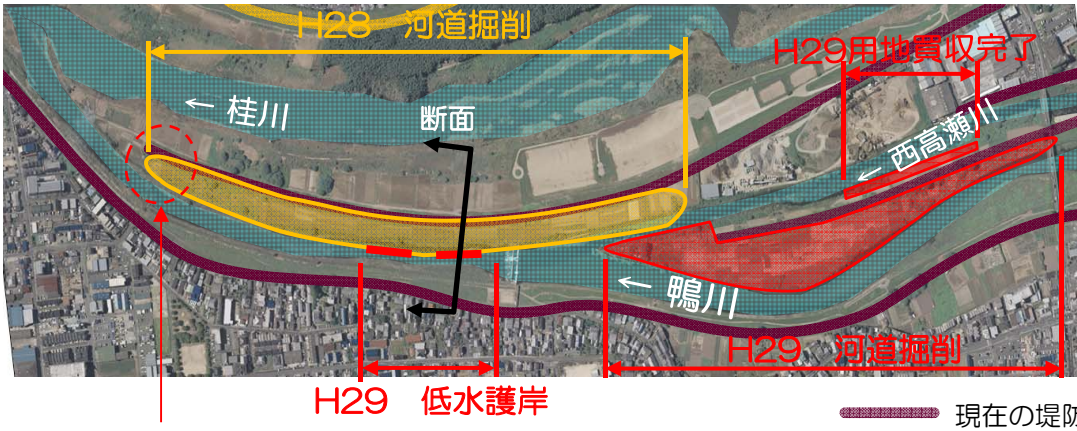


安心・安全の鴨川をめざして

河川改修の着実な推進

＜平成29年度の整備状況＞

河積の拡大①～河川敷耕作地の整理～（桂川合流～京川橋）

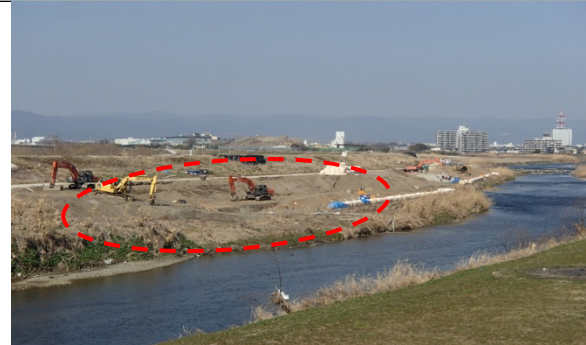
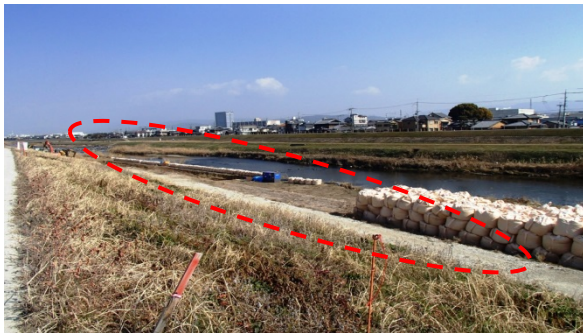


安心・安全の鴨川をめざして

河川改修の着実な推進

<平成29年度の整備状況>

河積の拡大② ～低水路の拡幅～（桂川合流～京川橋）



整備中

低水路の河積を拡大する掘削工事を実施中。

H29 V=約24,000m³を掘削。

高水護岸の整備（鳥羽大橋～大宮大橋）



整備中

整備計画断面に基づいた高水護岸を整備。

今年度工事にて、堀川合流部から鳥羽大橋までの右岸高水護岸が完成。

高水敷の整備（塩小路橋～東山橋）



完了

H29 完了
高水敷整備（東山橋～塩小路橋）

安心・安全の鴨川をめざして

河川改修の着実な推進 <これまでの整備状況>

治水対策

(鳥羽大橋～桂川合流点付近) 流下能力が低い区間の治水安全度向上

アクションプランの整備内容	進捗状況	内容
1 河川区域内行為の整理等	完了	桂川合流点付近の不法耕作等の解消 用地買収完了
2 河床掘削・低水路拡幅	整備中	H32年度に概ね完了予定
3 堤防強化	未整備	河床掘削後に実施(H31～(予定))
4 井堰改築(龍門堰)	一部整備済	上部工撤去済。 河床掘削・低水路拡幅後に、下部工撤去予定。

公共空間整備(高水敷整備)

アクションプランの整備区間	進捗状況	内容
1 仏光寺通～五条大橋(右岸)	整備中	五条大橋付近は高水敷の幅が狭く、整備方法を検討中
2 塩小路橋～東山橋(左岸)	完了	
3 勧進橋上流(左岸)	未整備	不法行為の整理が必要
4 勧進橋～京都南大橋(右岸)	一部未整備	近鉄橋梁付近以南が未整備
5 鳥羽大橋～小枝橋(右岸)	整備中	護岸整備後に整備予定

前プランまでの整備 「水辺の回廊整備・鴨川創造プラン」「公共空間整備基本プラン」

鴨川ジョギングロード

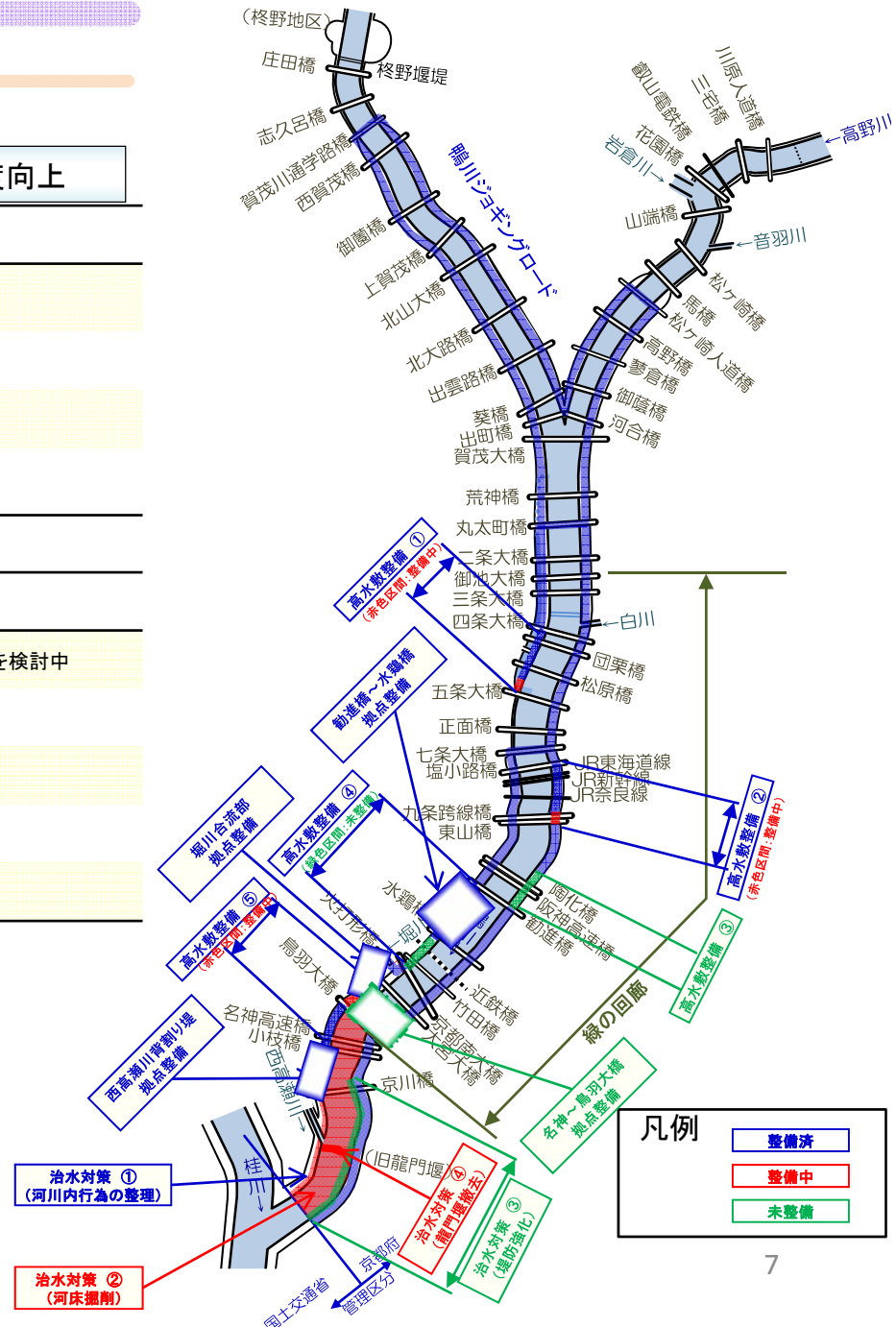
高水敷整備がほぼ完了。一部の未完成区間(■)を引き続き現プランで整備中

「緑の回廊」整備

御池～五条など一部完了。引き続き現プランで整備中

拠点整備

西高瀬川背割り堤・勧進橋～水鷄橋など一部完了。引き続き現プランで整備中



安心・安全の鴨川をめざして

経験のない大規模洪水への備え

鴨川浸水想定区域図の見直しについて

浸水想定図とは

水防法に基づき、洪水予報河川及び水位周知河川について、河川が氾濫した場合に想定される浸水区域を示すもの

市町村の役割

ハザードマップの作成

洪水予報等の伝達方法、避難場所その他洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な事項等を記載

鴨川浸水想定区域図（公表：平成15年5月）

- ・計画降雨(3時間雨量122mm) < おおむね100年に1回程度起こりうる降雨 >
- ・【参考】東海豪雨(3時間雨量214mm、24時間雨量532mm)

見直しの経緯

避難体制等の充実・強化を図るため、平成27年5月に水防法の一部が改正されたことから鴨川浸水想定区域図を見直す必要が生じました。

国土
交通省

平成28年8月 由良川 浸水想定区域図 の公表

平成29年6月 淀川・宇治川・木津川・桂川 浸水想定区域図 の公表

水防法改正を踏まえた見直しの概要

対象降雨の変更

河川計画規模の降雨
(概ね100年に1回程度起こりうる大雨)

想定しうる最大規模の降雨
(概ね1000年に1回程度起こりうる大雨)
(24時間雨量736mm)

家屋倒壊ゾーンの設定

氾濫流の流体力等による家屋の安定性を評価し、垂直避難の可否の判断等に活用

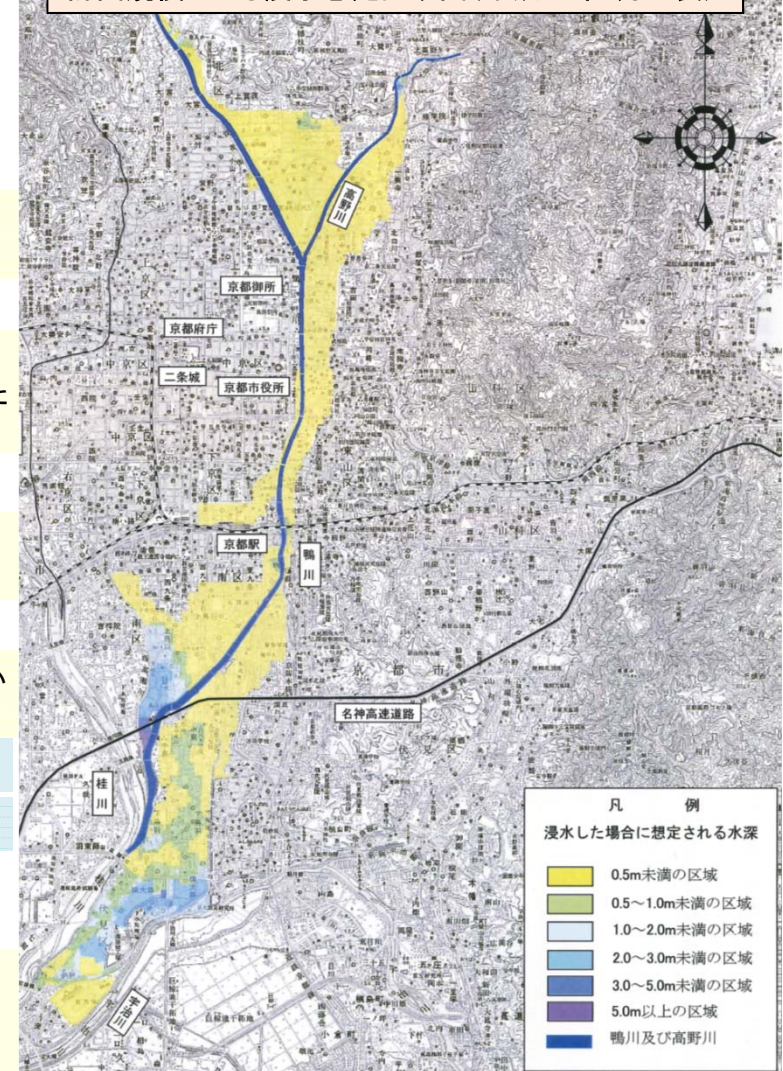
浸水継続時間の算定

立ち退き避難の要否や排水施設における排水計画の策定等に有効な情報となります。

浸水想定区域図の公表

平成30年 鴨川浸水想定区域図 の公表 (出水期前の予定)

計画規模による浸水想定区域図(平成15年5月公表)



計画規模(1/100)の降雨による浸水想定区域図

1/1000 規模の降雨を対象にして見直します。

鴨川の適切な維持管理

中州・寄州の管理

中州・寄州の管理を継続的に調査・検討をしながら10年サイクルを進める

柘野堰堤～二条大橋

全体を10年1サイクルとして、計画的に進めてきた
 平成21～28年度の8年間で、8万m³を越える土砂を除去
 ≡小学校プール(25m×12m×1m)の約270杯
 引き続き、試行・検証をしながら撤去を進める



<H29予定箇所>
 御蔭橋～西賀茂橋
 ※詳細な施工方法については、
 次頁のとおり



柘野堰堤下流



賀茂大橋付近

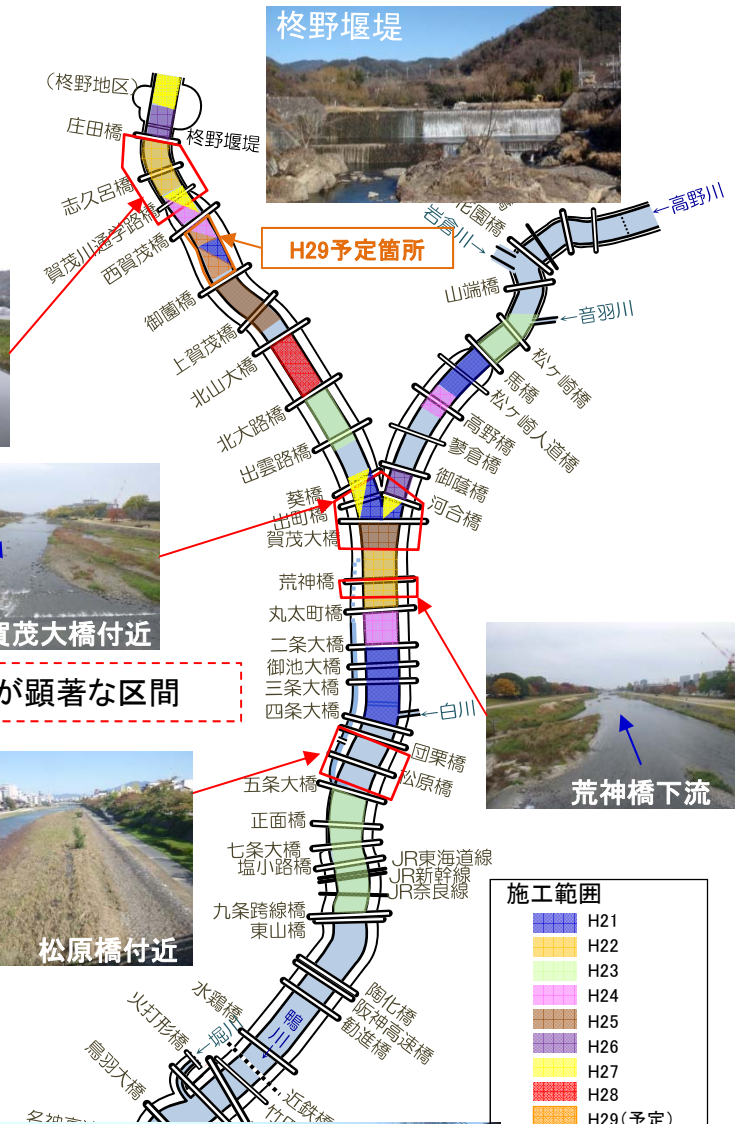
土砂堆積が顕著な区間



松原橋付近



荒神橋下流



施工範囲	
[Blue box]	H21
[Yellow box]	H22
[Green box]	H23
[Purple box]	H24
[Brown box]	H25
[Light blue box]	H26
[Yellow box]	H27
[Red box]	H28
[Orange box]	H29(予定)
[Blue and Yellow diagonal]	H21及びH27
[Green and Yellow diagonal]	H24及びH27
[Blue and Orange diagonal]	H21及びH29
[Purple and Orange diagonal]	H24及びH29

二条大橋～七条大橋

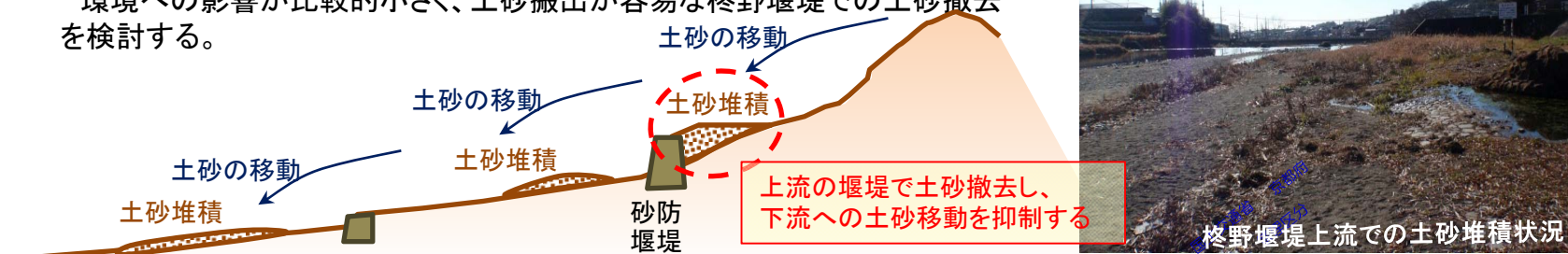
平成22年度以降に顕著な堆積は確認されていないが、一部で堆積傾向あり
 (平成25年台風18号等においても影響はなし)

今後の中州管理の方向性(案)

過度な河床低下に配慮しながら、景観と自然環境に配慮した土砂管理計画を検討する。

例えば、柘野堰堤での土砂撤去により、下流区間での土砂堆積を抑制できる可能性がある。

環境への影響が比較的小さく、土砂搬出が容易な柘野堰堤での土砂撤去を検討する。



柘野堰堤上流での土砂堆積状況

鴨川の適切な維持管理

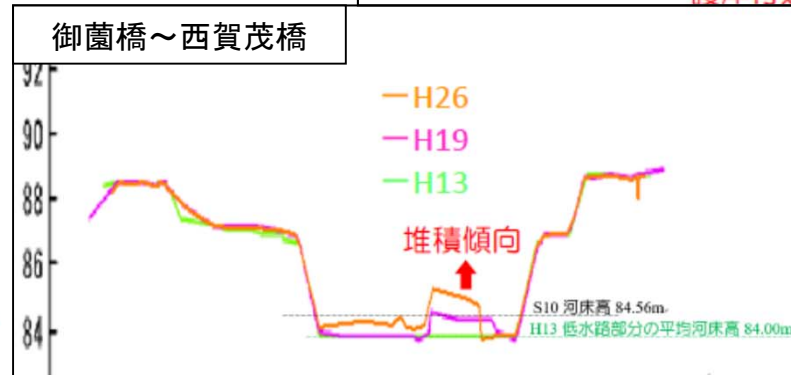
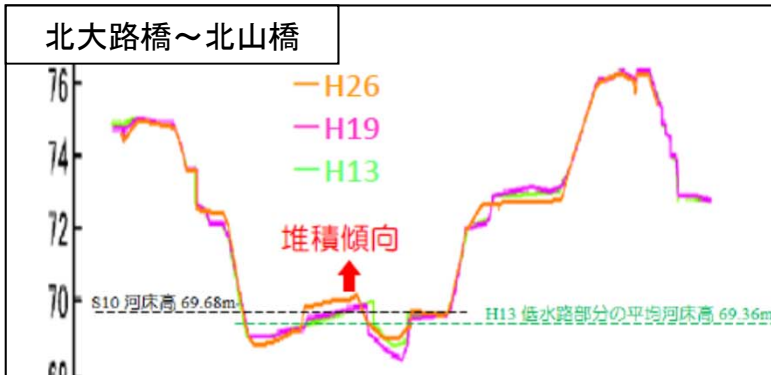
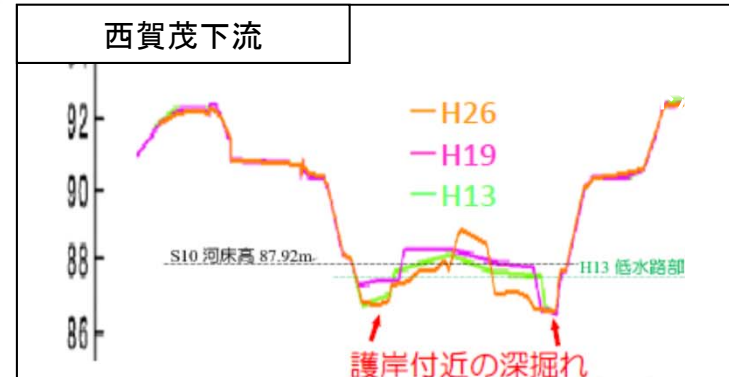
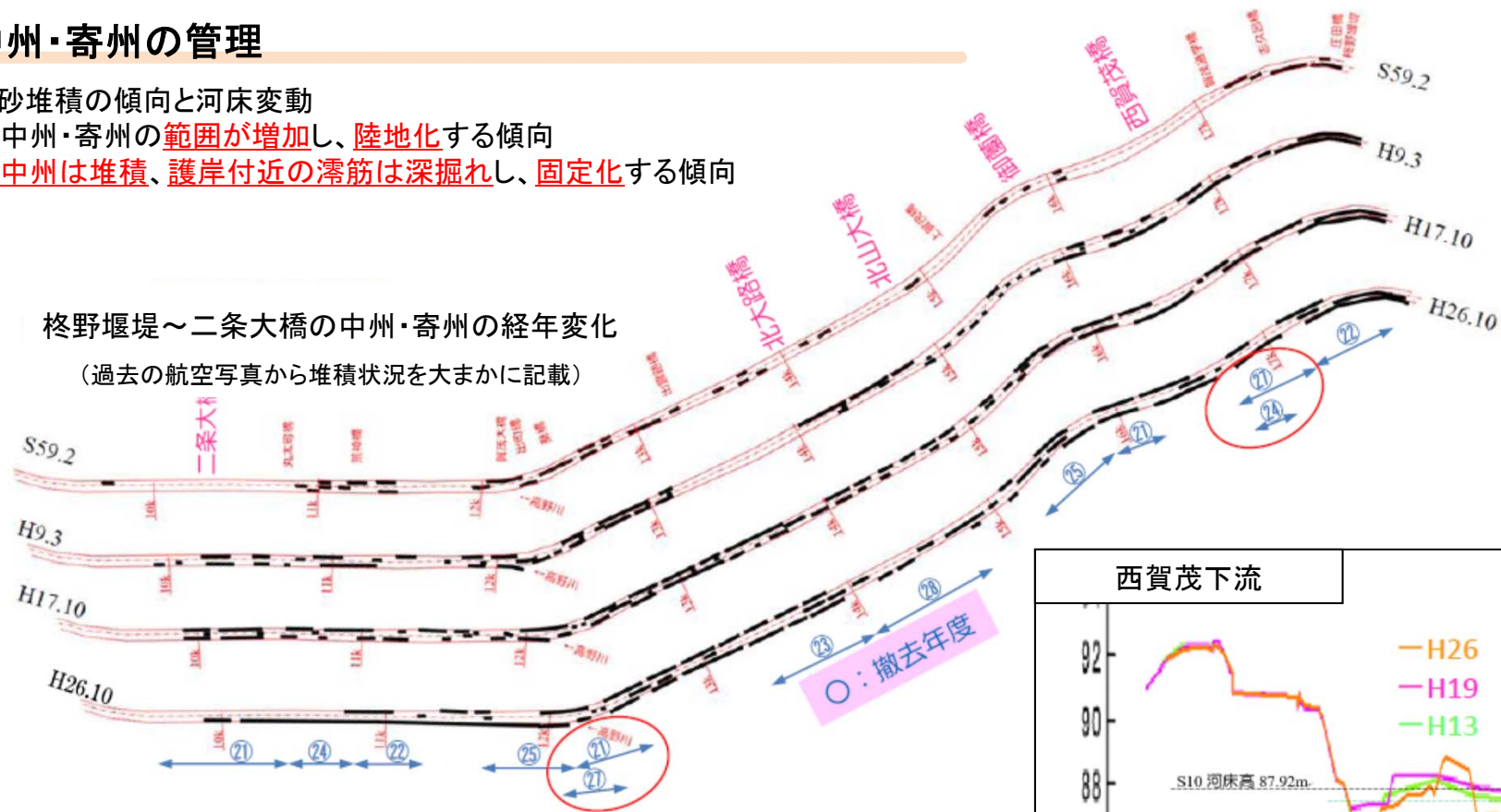
中州・寄州の管理

土砂堆積の傾向と河床変動

- ・中州・寄州の**範囲が増加**し、**陸地化**する傾向
- ・**中州は堆積**、**護岸付近の滯筋は深掘れ**し、**固定化**する傾向

柘野堰堤～二条大橋の中州・寄州の経年変化

(過去の航空写真から堆積状況を大まかに記載)



鴨川の適切な維持管理

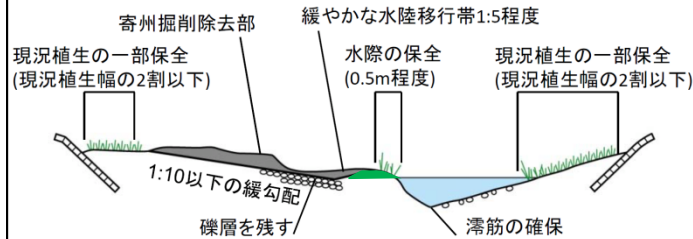
中州・寄州の撤去範囲の拡大（試行案）

＜基本的な考え方＞ 本区間は流下能力が低いことから、少なくともH13当時の河積を確保するため、今年度施工箇所に関しては、試行的に撤去範囲を拡大して撤去する。

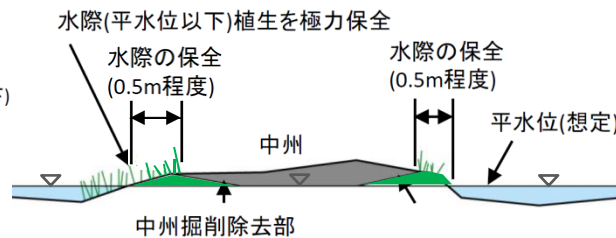
＜撤去方法＞

- 水際保全の範囲：幅50cm程度・高さ20cm程度・流向方向の長さは10m以下を基本とし、千鳥配置とする。
- 撤去部分：河床の高さ程度まで。
- 深掘れによる護岸の損傷を防ぐため、護岸付近の寄州は一部(幅2m程度)を残す。
- 護岸基礎が露出している箇所は、撤去した土砂を利用して寄州の形状に盛土。
- 土砂が堆積しやすい橋梁の下流や落差工の上流部は、全面撤去。
- 撤去後は、水生生物や堆積状況等をモニタリングする。

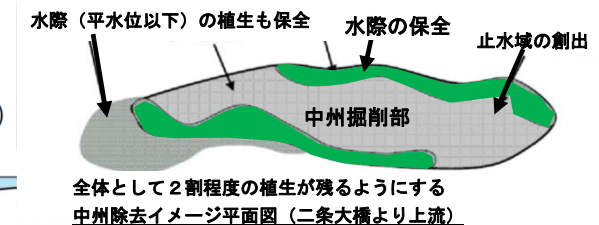
寄州除去のイメージ



中州除去のイメージ

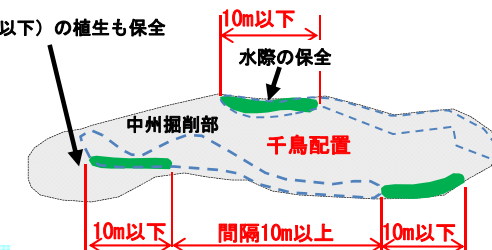
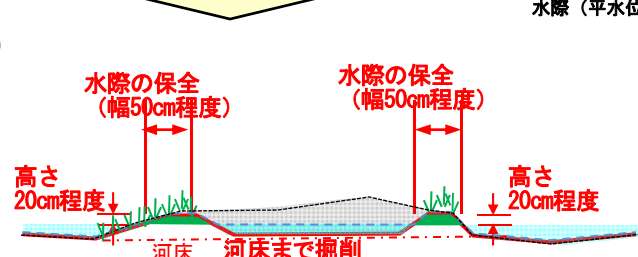
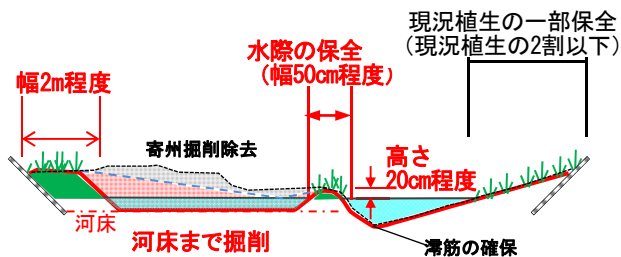


アクションプラン



H29施工箇所の

試行案



中州除去イメージ平面図(H29施工箇所)

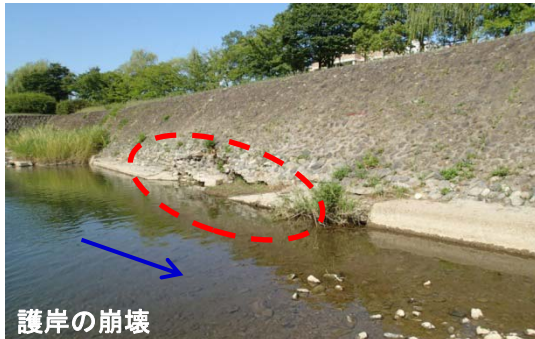
鴨川の適切な維持管理

河川構造物の点検・修繕等

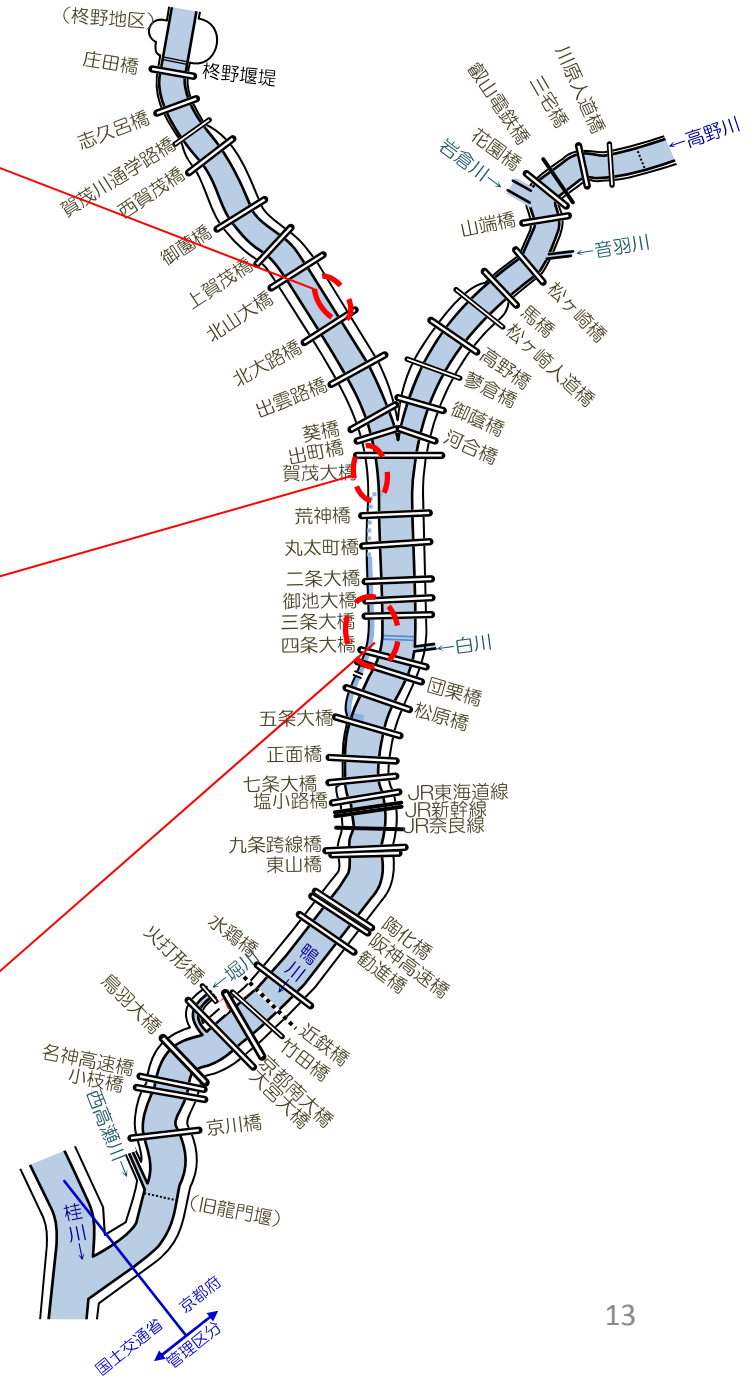
園路舗装の維持管理



破損した護岸の修繕（賀茂大橋下流）



破損した護岸の修繕（三条大橋～四条大橋）



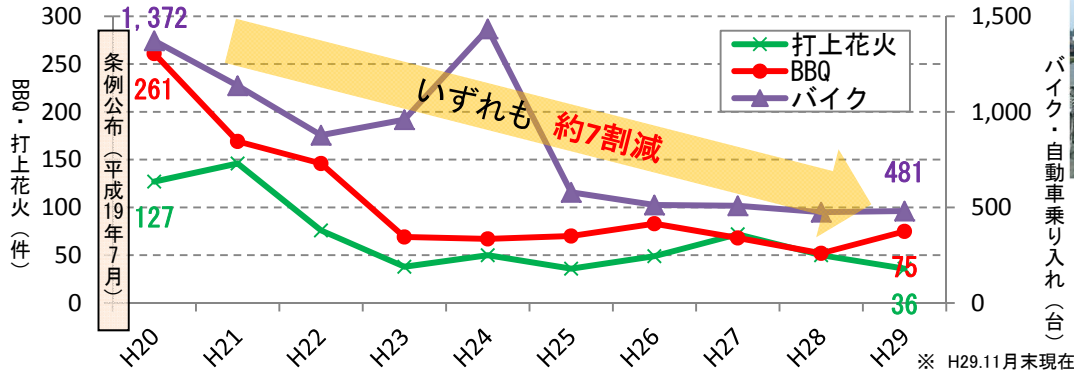
千年の都・京都の美しい鴨川をめざして

河川区域内行為の整理、指導等

河川法違反行為(不法占用、不法工作等)、鴨川条例違反行為(BBQ、打上花火等)への適切な対応
鴨川条例の周知・啓発

鴨川条例に基づく指導状況

禁止行為が大幅に減少しており、鴨川条例に基づく指導が大きな効果を上げています。

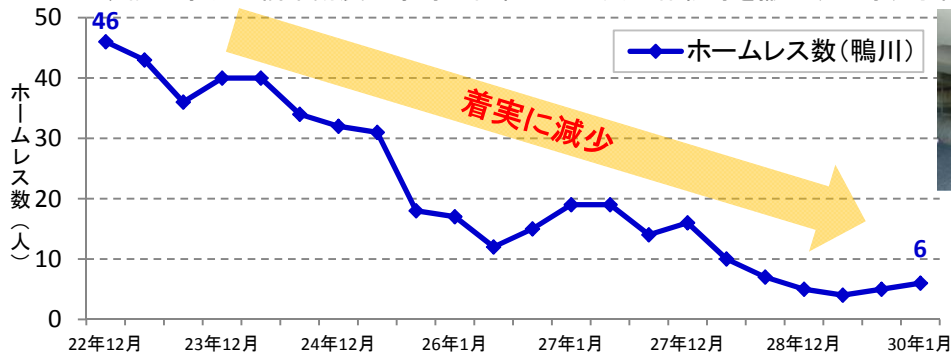


鴨川条例の規制区域



ホームレス対策

河川改修工事及び橋梁耐震工事等に合わせて不法工作物等を撤去する等、対策を進めています。



不法行為の対処

鴨川上流域の河川敷に存在する産業廃棄物を撤去した。(～H27)



千年の都・京都の美しい鴨川をめざして

河川区域内行為の整理、指導等

河川法違反行為(不法占用、不法工作等)、鴨川条例違反行為(BBQ、打上花火等)への適切な対応
鴨川条例の周知・啓発

鴨川条例の点検

<目的>

鴨川条例が施行されて10年経過することから、条例の内容が社会的変化等に対応できているか点検中。

<進め方>

- 平成29年度に4回開催し、以下の2つの内容を並行して進めた。
- ・事務局から条例の施行状況や条例に対する府民の意見等を説明した。
 - ・関係各分野(治水、利用、環境など)を代表する者から意見を聴取した。

<構成メンバー>

	メンバー	
座長	金田 章裕	京都学・歴彩館 館長、京都大学名誉教授
副座長	川崎 雅史	京都大学大学院 工学研究科 教授
法律	新川 達郎	同志社大学 政策学部 教授
法律	野崎 隆史	弁護士(元京都府総務部政策法務課法務調査役)

<意見聴取メンバー>

条例	メンバー		分野
【前文・第1章】(第1条～第5条) 総則	中川 博次	京都大学 名誉教授	全分野
	杉江 貞昭	鴨川を美しくする会 事務局長	全分野
【第2章】(第6条～第7条) 安心・安全の確保	戸田 圭一	京都大学大学院経営管理部 教授	河川工学
	三好 岩生	京都府立大学大学院生命環境学部 助教	森林科学
【第4章】(第16条～第23条) 快適な利用の確保	大上 浩史	京都中央信用金庫 理事	経済界
	諏訪 亜紀	京都女子大学現代社会学部 教授	府民協働
	藤井 啓太郎	大学コンソーシアム京都 学生交流事業部 次長	学生ボランティア
【第5章～第7章】(第24条～第34条) 府民協働の推進・雑則・罰則	北川 洋一	京都市観光協会 事務局長	観光産業界
	藤田 宗	左京医師会 顧問	府民協働
	八木 雅之	京都自然教室代表 教授	府民協働

より一層多くの人々から親しまれる鴨川をめざして

鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出

鴨川ギャラリー等の整備

鴨川の橋梁下を活用し、橋の周辺にまつわる歴史/文化を紹介することにより、鴨川の観光スポット化を進めるとともに、府民の憩いの場としての鴨川のポテンシャルを高める。



出町橋(右岸)(H24)



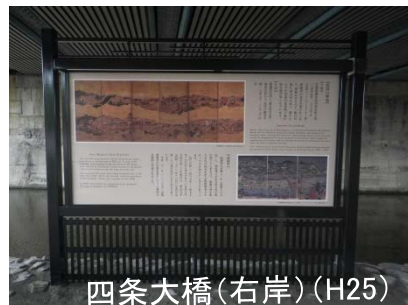
二条大橋(右岸)(H24)



御池大橋(右岸)(H26)

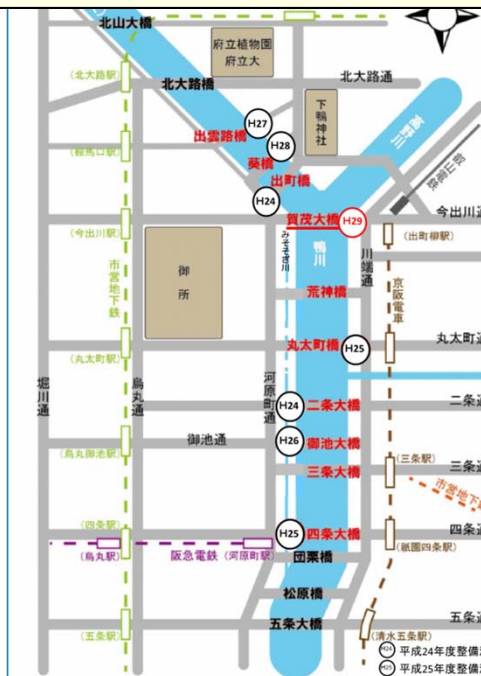


四条大橋(右岸)(H25)



丸太町橋(左岸)(H25)

全10箇所を設置予定。平成28年度までに7箇所を整備。



H29年度は、1箇所を予定



出雲路橋(左岸)(H27)



葵橋(左岸)(H28)



賀茂大橋(左岸)(H30.6完成予定)



より一層多くの人々から親しまれる鴨川をめざして

鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出

飛び石による回廊ルートの強化

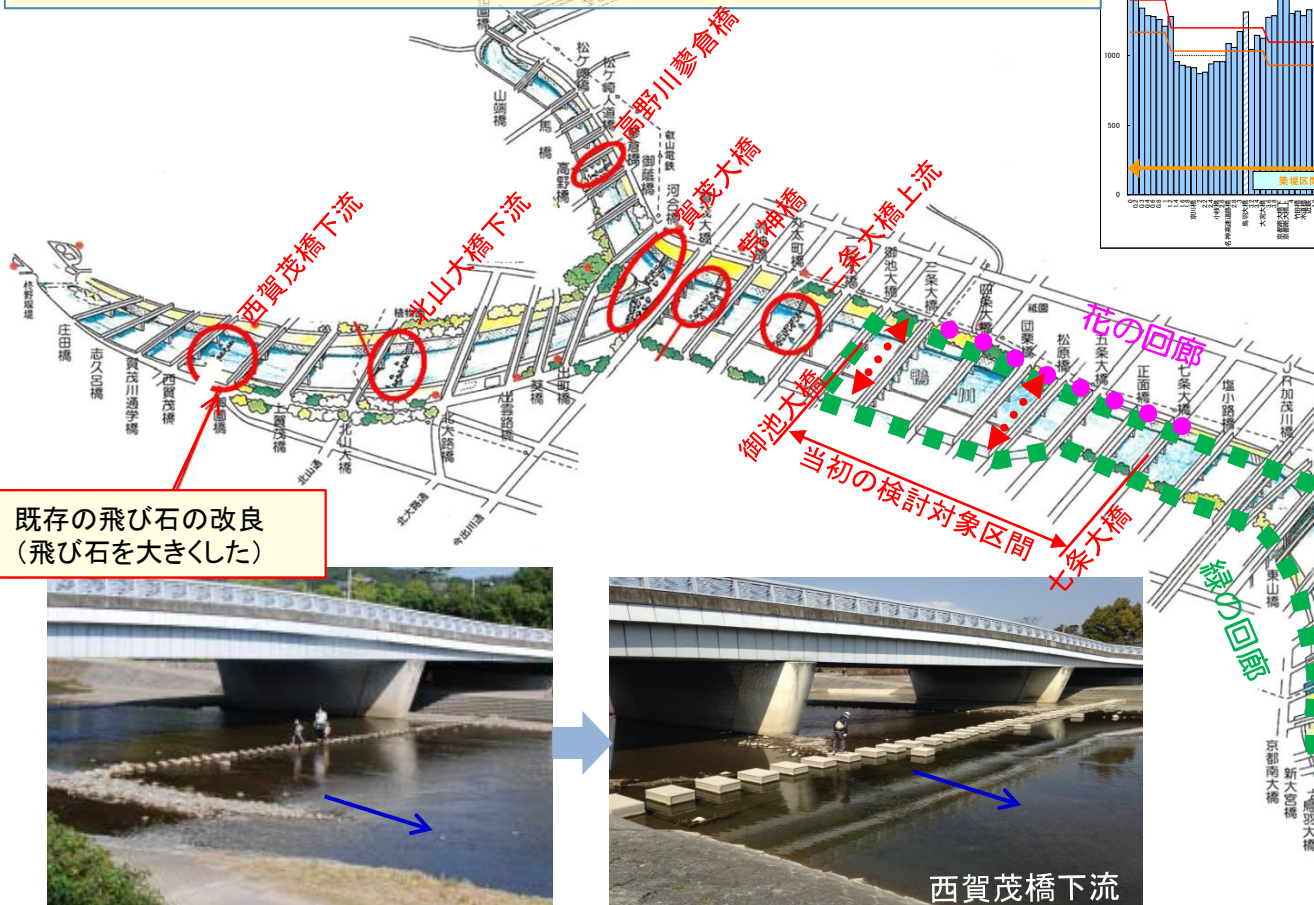
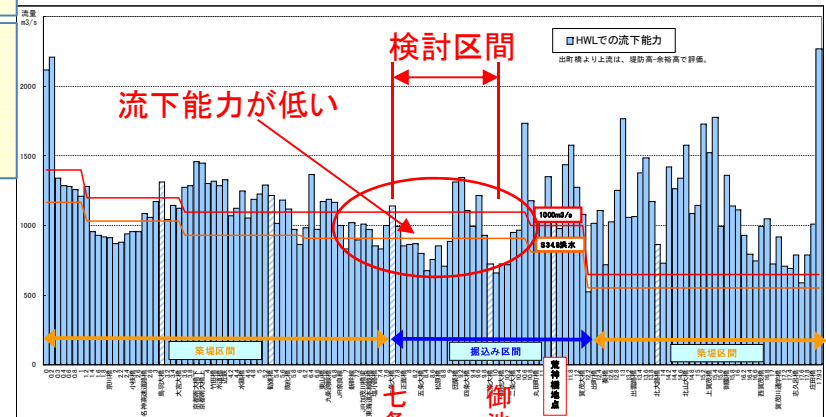
「花の回廊」「緑の回廊」との連続性を強化することにより、利用者の回遊性を確保するため、御池大橋から七条大橋間において、飛び石設置を検討する。

<実施状況> 西賀茂橋下流の飛び石を修繕

<課題>

御池大橋～七条大橋間については、

- ・50cm～1.1m程度の深みがあり、流速も速く、子供などが転落すると**危険**
- ・流下能力が低い区間であり、**断面を阻害**する恐れがある構造物の設置は望ましくない



既存の飛び石の改良
(飛び石を大きくした)



西賀茂橋下流



三条大橋下流

より一層多くの人々から親しまれる鴨川をめざして

鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出

水辺環境の保全・再生

魚道等の設置により、河川の縦断的な連続性を確保する。
水陸移行帯の創出など横断的な連続にも配慮し魚類等の生息環境の改善を図る。

落差工の修繕において、漁協と調整しながら魚が遡上しやすい形状に配慮しました。



石組み式簡易魚道の設置 < 賀茂川漁業協同組合 >



簡易魚道の設置 < 京の川の恵みを活かす会 >

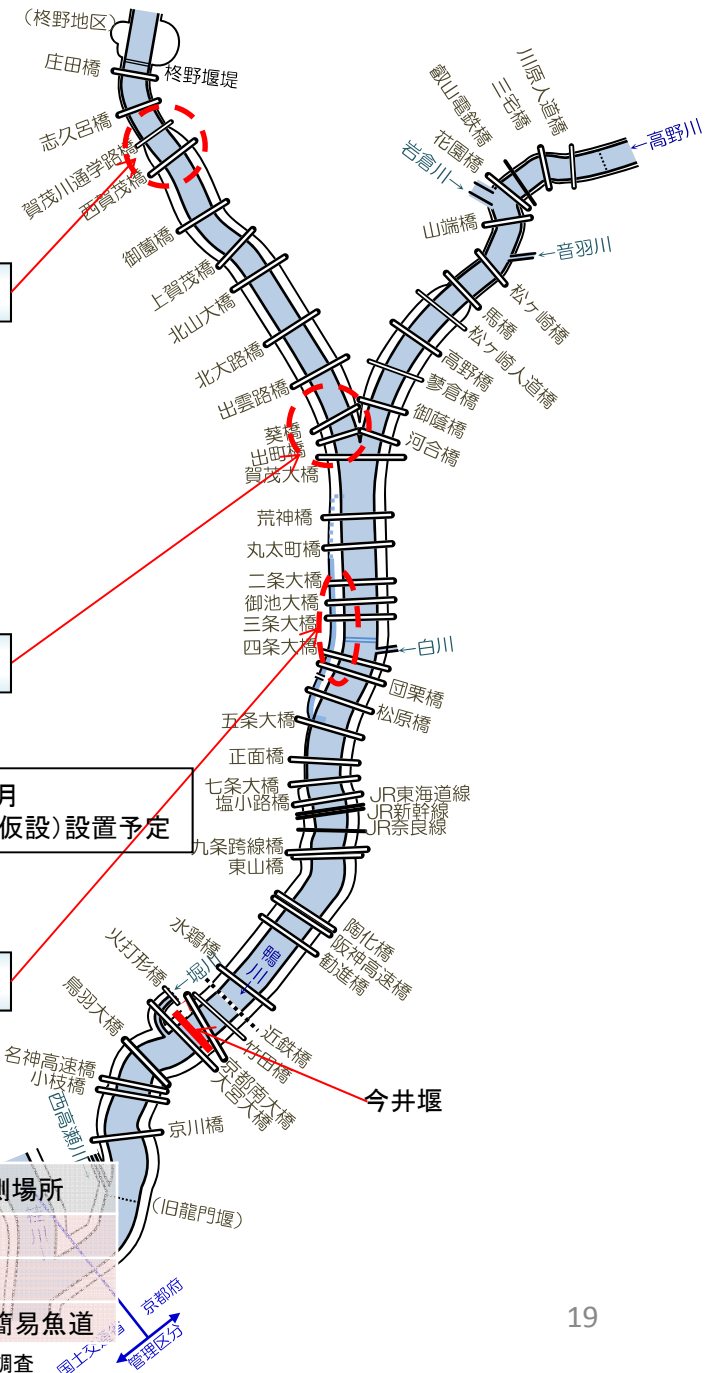


三条、丸太町、荒神口の各落差工に簡易魚道を設置
期間:5月下旬~9月頃

< 遡上実績 >

年度	遡上確認数	計測期間等	計測場所
27	魚類 2,591尾	58日間	今井堰
28	魚類 3,697尾	63日間	今井堰
29	アユ 20尾	45分間(7月8日)	荒神口簡易魚道

※ 京の川の恵みを活かす会による調査



より一層多くの人々から親しまれる鴨川をめざして

鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出

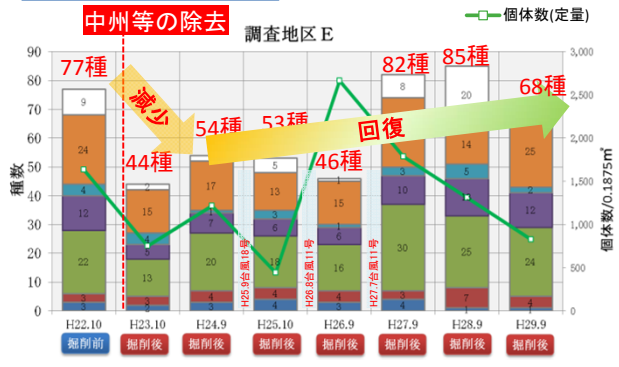
水辺環境の保全・再生

H28
施工箇所

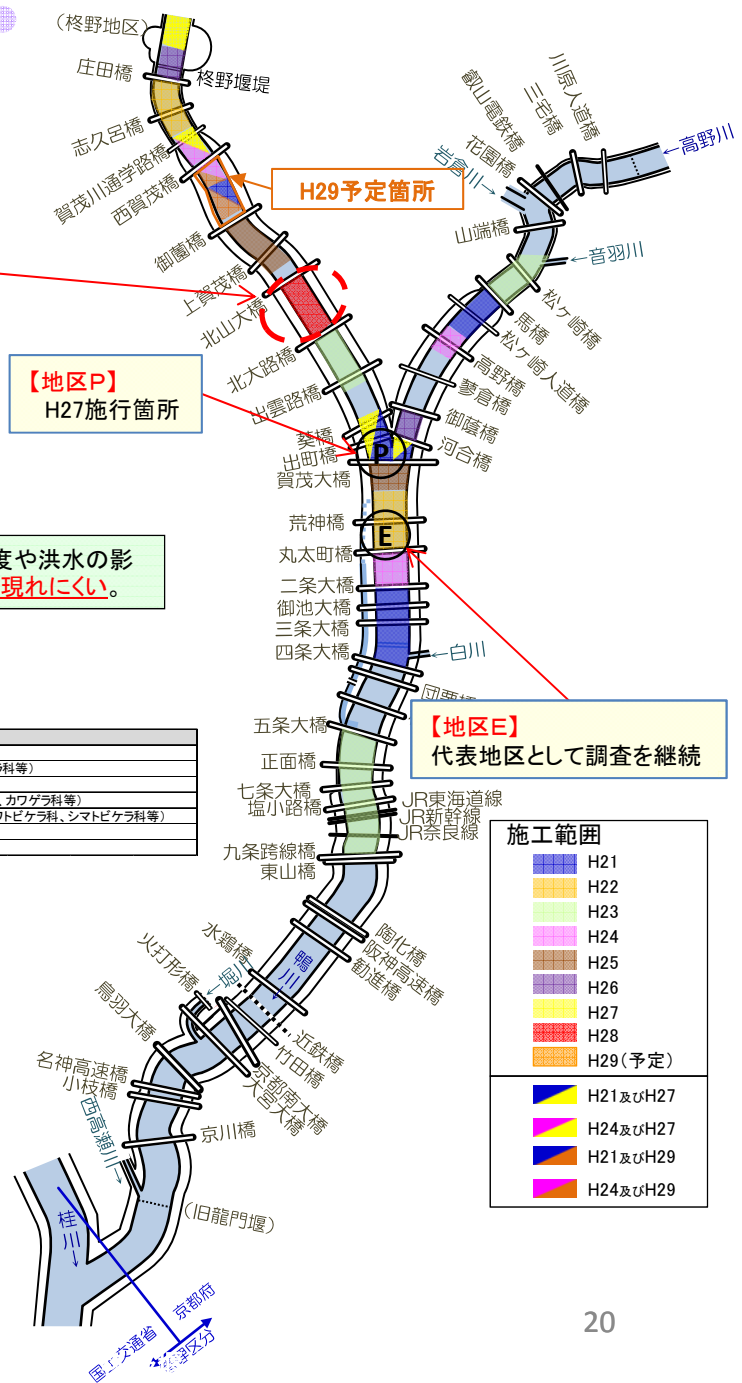


底生生物モニタリング調査・・・H29調査結果

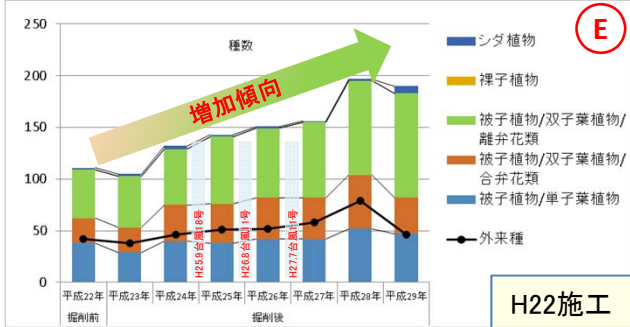
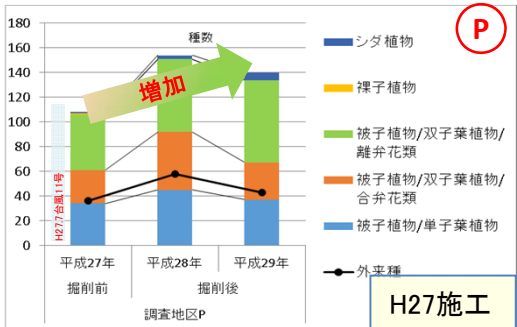
<参考> 地区E



撤去後に一時的に減少することもあるが、調査年度や洪水の影響等に依存する要因の方が強く、撤去による影響は現れにくい。



植物モニタリング調査・・・H29調査結果



- ・確認種類数: 掘削前より増
- ・重要種: 、ハッカ、コムラサキ、アオガツヤリ
- ・特定外来生物: 未確認

- ・確認種類数: 掘削前より増
- ・重要種: キカラスリ、ハッカ、コムラサキ、アオガツヤリ、カワヂシャ
- ・特定外来生物: オオキンケイク、オオカワヂシャ

より一層多くの人々から親しまれる鴨川をめざして

鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出

利用者の快適性の向上

光・映像による演出

ライトアップやプロジェクションマッピング等の新しい技術を取り入れて表現することにより、次世代に引き継ぐべき歴史、文化を醸し出す水辺空間を創出する。



京の七夕2015



京の七夕2016



京の七夕2017

主催：京の七夕実行委員会



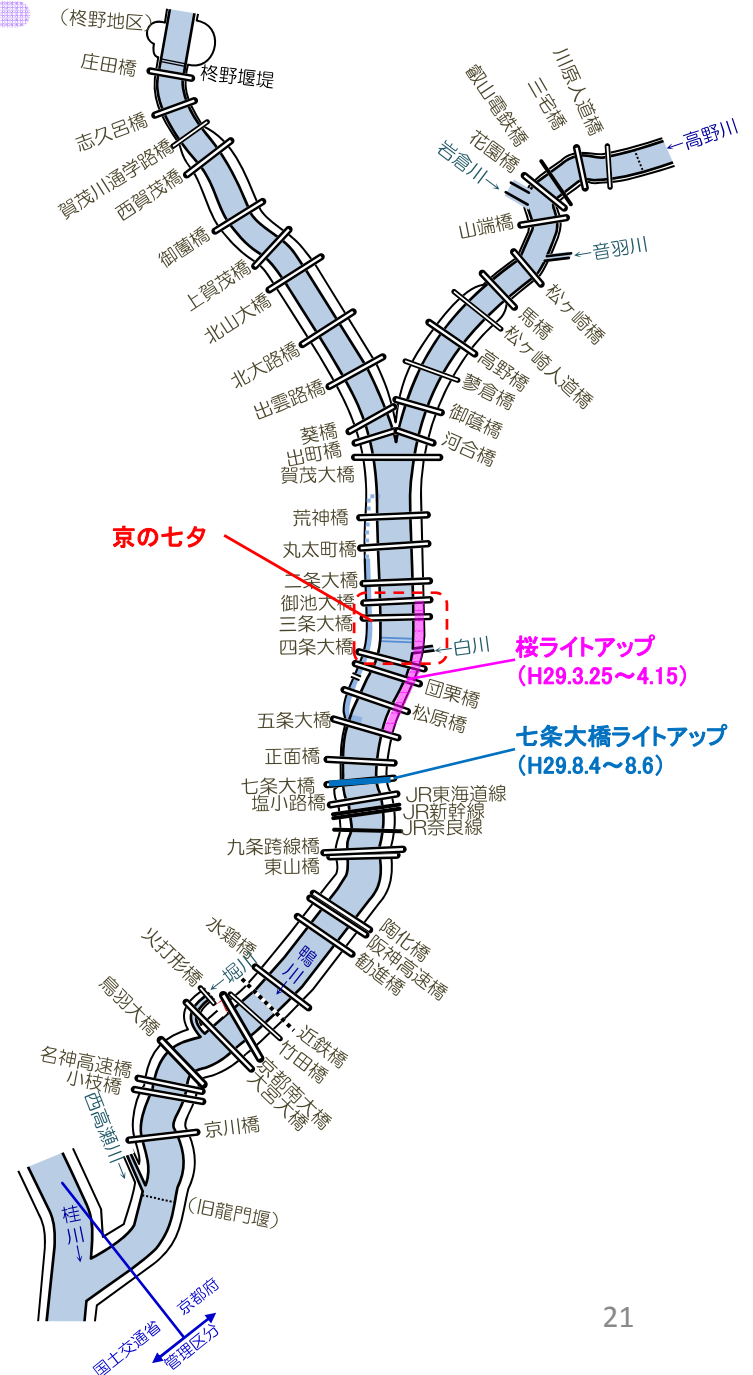
桜ライトアップ(H29.3.25~4.15)

主催：鴨川花の回廊ライトアップ実行委員会



七条大橋

主催：七条大橋をキレイにする会



より一層多くの人々から親しまれる鴨川をめざして

NPOや大学、地域との連携・協働

鴨川探検等体験学習や環境教育の展開

鴨川の魅力を改めて発見し、川への理解を深め、防災や河川愛護、自然環境保全への関心と主体的な取り組みの輪を広げてもらう。

<アンケート結果> (最近5年間を対象)

対象期間: H25~H29 (第31~47弾) <13回開催>

参加人数: こども 290人

保護者 230人

計 520人 (延べ人数)

第36、38、46弾は中止。

第45弾は「AQUA SOCIAL FES!! 2017」の一環として実施。

(計120人が参加<内訳不明のため上記人数に含まず。>)

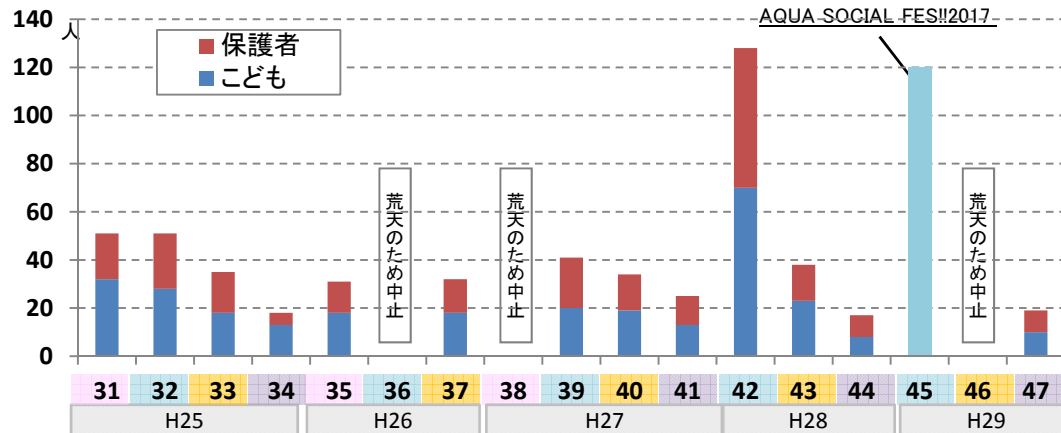
第42弾はアンケート実施せず。



野鳥観察会



生き物観察&水質調査



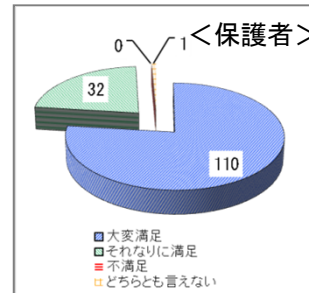
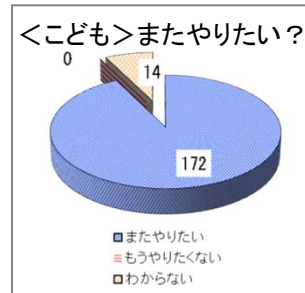
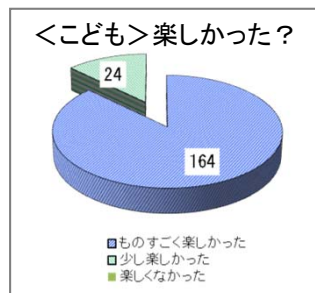
アンケート結果 (H25~29) (第31~47弾)

<こどもからの意見(見たり聞いたりしたいこと)>

- ・魚を観察したい
 - ・魚のことを知りたい
 - ・今日見られなかった鳥を見たい
 - ・鳥について知りたい
 - ・虫を見たい
 - ・他の生き物のことを知りたい
 - ・川の水はどこから流れてくる?
 - ・つりがしたい
- など

<保護者からの意見(改善すべき点)>

- ・時間が短い
- ・資料の充実(量、写真、事前配布が良い など)
- ・説明(聞こえにくい、不十分・不正確) など



安心・安全の鴨川をめざして

アクションプランの実施状況まとめ

アクションプラン

実施状況

今後の予定・課題等

河川改修の着実な推進

河川区域内行為の整理、指導等	概ね完了	桂川合流部の河川区域内行為の整理がほぼ完了	勸進橋上流左岸について、今後、整備計画を踏まえた対策の検討が必要。
自然に配慮した高水敷・堤防の整備	実施中	護岸整備等、整備計画に基づき実施中（鳥羽大橋下流） 低水護岸完了、高水護岸整備中（勸進橋～くいな橋）高水敷整備 等	河川区域内行為の整理の完了に引き続き、護岸整備等の進捗を図る
井堰改修	概ね完了	龍門堰の管理橋・本体上部を撤去（H27）	護岸整備完了後に引き続き下部工を撤去

多発する集中豪雨への対応

河川情報板設置等による情報発信の多様化	実施中	水位計の増設（H26：小枝橋） 高感度カメラの導入	効果的な防災情報の発信方法の検討（携帯端末へプッシュ型の情報配信 等）
洪水予報システムの精度向上	検討中	Xバンド雨量データを活用した洪水予報システムを構築し、妥当性を検証中	妥当性の検証のため、大雨時のデータ蓄積を進める

経験のない大規模洪水への備え

治水安全度の向上方策検討	実施中	浸水想定区域図の見直し（対象降雨：1/100→1/1000）	見直した浸水想定区域図を、H30出水期前に公表予定 避難体制の充実などソフト対策の検討が必要
--------------	-----	--------------------------------	---

鴨川の適切な維持管理

中州・寄州の管理	実施中	河床整正・定点観測を実施	土砂堆積の傾向を分析し、効果的な管理方法を検討 生物モニタリング結果に基づき、環境・景観に配慮した管理手法を検討
河川構造物の点検・修繕等	実施中	計画的な点検・修繕に加え、出水時等には随時点検・修繕を実施	引き続き適切な点検・修繕を継続 長寿命化計画に基づき、詳細な施設管理計画を検討

千年の都・京都の美しい鴨川をめざして

アクションプランの実施状況まとめ

アクションプラン

実施状況

課題等

良好な水辺環境の保全

流況の把握	実施中	低水流量観測を、2回/月実施 台風等の出水時に流量観測を実施 (H26台風11号、H27台風11号 等)	引き続き観測を継続
-------	-----	--	-----------

歴史都市・京都にある鴨川の保全

鴨川景観のあるべき姿の 具体的検討等	実施中	エアコン室外機の景観対策を実施中 (補助対象87台の内、24台対策済)	市との連携による対応 占用料の取扱いの見直し
-----------------------	-----	--	---------------------------

河川区域内行為の整理、指導等

不法行為への対策	実施中	がれき撤去、ホームレス対策を実施 鴨川条例の浸透と巡視、指導により 違反件数の減少	不法行為は着実に減少しており、 引き続き対策を継続するとともに、パトロール を継続し再発防止を図る
----------	-----	---	---

不適切行為への対策	検討中	鴨川条例の点検の中で、 府民会議で ・バーベキューのあり方 ・タバコポイ捨て防止 ・啓発看板等の整理・統合の検討 などを議論中	新たな課題への対応も含め、府民会議での 議論を継続
-----------	-----	--	------------------------------

より一層多くの人々から親しまれる鴨川をめざして

アクションプラン

実施状況

アクションプランの実施状況まとめ

課題等

鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出

黄昏時利用スポットの充実	→	未実施		夜間に河川内に人を呼び込むことによるリスクに対して、安全対策の検討が課題
川の自然体験スポットの創出	→	未実施		河川改修に合わせて親水空間となる拠点整備を検討
鴨川ギャラリー等の整備	→	概ね完了	順次設置中 (～H28:7箇所、H29:1箇所施工中) (全10箇所を計画)	予定数を概ね完了 今後の利用促進・維持管理(更新・清掃等)が課題
植物園と連携した四季の彩りスポットの整備	→	未実施		整備後の維持管理(管理者・費用等)が課題
飛び石による回廊ルートの強化	→	実施中	西賀茂橋下流の飛び石を復旧 御池～七条間は流速等で設置困難	御池～七条間については断念 既存飛び石の改良・活用方法の検討
水辺環境の保全・再生	→	実施中	落差工修繕時に遡上しやすい形状に修繕 (H27:西賀茂橋上流) 民間等による仮設魚道の設置	鴨川の景観に馴染む構造の検討 流下能力を阻害しない構造の検討 が必要
利用者の快適性の向上 (ライトアップ等)	→	実施中	「京の七夕」でのプロジェクションアート 「桜ライトアップ」 「鴨川茶店」「勸進橋フェスタ」など	安全対策・開催費用が大きな課題 民間(企業・NPO等)との連携を進める
河川公共空間の適切な維持管理	→	実施中	計画的な点検・修繕に加え、 出水時等には随時点検・修繕を実施	引き続き適切な点検・修繕を継続 長寿命化計画に基づき、詳細な施設管理計画を検討
鴨川探検等体験学習や環境教育の展開	→	実施中	引き続き「鴨川探検！再発見！」を実施 (H25～29で13回開催)(中止3回を除く) (参加者 計640人<こども290人、保護者230人>+内訳不明120人) 第45弾では民間イベントと連携して実施	概ね好評。内容の拡充や地域との連携・協働等、活動の展開を検討すべきか